

# 奈良の丘だより

横浜市立奈良の丘小学校

学校教育目標 9月号

笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘

- 自ら考え、進んで行動する子を育てます
- 互いに認め合い、高め合う子を育てます
- たくましく、共に生きる子を育てます

更新中

<http://www-local.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/naranooka/>

## 今年も 暑い、熱い夏でした

校長 中嶋 弘喜

39日間の夏休みが終わり、学校が再開しました。今年の夏は、4年に1度のオリンピックが開催され、夜更かしをしてしまう子供たちも多かったのではないのでしょうか。私も、連日夜遅くまで観戦し、寝不足の日々を過ごしてしまいました。

リオオリンピック開幕前日、オリンピックメダリストの中村礼子さんの講演を聴く機会がありました。中村さんは横浜市出身で、北島康介さんが指導を受けていた平井伯昌コーチのもとで練習をし、2004年シドニー、2008年北京のオリンピックに出場して、200M背泳ぎで連続して銅メダルを獲得されました。

3歳の時に親の意向で水泳を始め、最初の頃は泣きながら通っていた状況が、小学校3年生の時に出場した全国大会を機に自分から水泳に取り組むようになったそうです。その時、全国大会でいつか優勝するという目標をもつことで、自分が大きく変わったと話されていました。その後、中学生の時には、目標としていた全国大会優勝を成し遂げ、オリンピック出場が次の目標となったそうです。人は、しっかりとした目標をもつことで、成長するための大きなエネルギーを得ることができると再認識させられました。

輝かしい成績を残した中村さんですが、プレッシャーに弱く実力を発揮できなくて、思い悩んだ時期がたくさんあったことを話されていました。特にメダリストとして2度目のオリンピックをめざしていた時期は、本当につらい思いをしていたそうです。その時、支えになったのが家族やコーチであり、ともに練習している仲間、支えてくれる人がいることを感じられた北京での銅メダルは、シドニーの銅メダルとは色が違うように感じられたそうです。また、自分だけの力では、夢は叶えられないことを学んだと話されていました。

私たち教職員も、子供たちをしっかりと支えられる存在となれるよう精一杯努力していきたいと改めて感じました。

中村さんは、横浜市の小学校を訪問して、お話や水泳指導を行うことがあり、その時、子供たちに伝えていることがあります。

「まずは、チャレンジしてみて、それを続けることで楽しいと感じ、そこで目標ができることで努力ができるようになるんだよ。」 素敵な言葉だと思います。



- ・チャレンジしてみよう
- ・続けてみよう
- ・楽しいと思うこと
- ・悔しいと思うこと

奈良の丘小学校の教育目標“チャレンジいっぱい 笑顔いっぱい 奈良の丘”を実現することで、子供たちが、夢や目標をもち、それに向かって突き進むことができるようになってほしいと思います。